



「退院支援」とは、患者とその家族が望む生活の場
に、安全・安心に退院でき
よう支援することです。

患者と家族がどこに退院
したいのか、その選択に関
わりそこで生活するために
患者、家族が抱える問題点
を抽出し支援していく過程
でありケアそのものです。



病院は日常生活からかけ
離れた異空間であり、いま
での「当たり前」の生活が
制限され生活の質が低下し
てしまいます。病気で寝て
いる期間が長ければ長いほ
ど、身体の機能は低下し回
復するには時間がかかりま
す。治療前の状態に戻れば
自宅や施設に帰るのは簡単
ですが、残念ながら入院前
の元気だった頃に戻るのは
難しい方が多いのが現状で
す。それでも住み慣れた自
宅に戻りたいと希望される
患者さんがいらつしやいま

す。もちろん家族のサポー
トも重要になりますので、
家族の意向も確認したうえ
で退院支援をしていくこと
になります。
入院すると患者さんには
個々に受持ち看護師が決ま
ります。その看護師を中心
にその方のケアの最善を考
え援助していきます。また
担当ケアマネジャーが決ま
っていれば、日常生活につ
いての情報を提供してもら
います。施設からの入院で
あれば施設情報を提供して
もらいます。

自宅退院を希望している
患者さんの治療がすすん
で、退院できそうな予測が
たつと、本格的に自宅で日
常生活が円滑に行えるよう
な準備をします。



退院前準備カンファレン
スを開き、看護師長、病棟
受持ち看護師、理学療法
士、訪問看護師、担当ケア
マネジャー、地域包括作業
療法士が病院に集まり、そ
れぞれの情報交換と役割を
確認します。特に大切なの
が自宅での歩行環境、トイ
レやベッドへの動線、食事
の支度、買い物、入浴、服
薬管理、家事全般です。ま
た自分で動くのが困難な方
は、排泄の管理が必要にな
ります。本人の現在の状態
を把握し、退院までにどの
ような準備が必要かを各専
門職が病院に集まって検討
します。



▲退院準備カンファレンス

病院では、退院前準備カ
ンファレンスの前に可能な
限り受持ち看護師と理学療

法士で自宅に訪問させて
いただき、段差、動線、手
すり、本人の動きなどを確
認させていただき準備をす
めています。また病状に
合わせて早期にリハビリテ
ーションを開始し機能低下
を最小限にとどめる努力を
しています。また薬の自己
管理が必要な方には、入院

中に内服薬を自己管理して
いただき自宅での生活に少
しでも近づけるようにして
います。
そして退院日がある程度
確定したら、主治医、ケア
担当者（看護師・ケアマネ
ージャーなど患者さんのケ
アを担当する人）、患者さ
ん、ご家族といった関係者
全員が顔を合わせ、これか
らのサービス内容や在宅で
の生活の注意点などを確認
する機会を設けています。



3 すべての人に
健康と福祉を



高齢になって病気になっ
てしまったら諦めるしか
ないというのではなく、長年
生きてきたからこそ沢山の
愛着や思い出があり、居心
地の良い空間があると思
います。そしてその人なりの
生き方を誰もが持つてお
れると思います。
私たちはその思いに寄り
添い、可能な限り実現でき
るようご家族の皆さんとも
話し合いながらこの「退院
支援」に取り組んでいま
す。

■お問い合わせ

町立下川病院

☎・☆4-2039

